



決壊したのは 鬼怒川だけではない！！

八間堀川の決壊について



八間堀川決壊現場付近

議員 「八間堀川の決壊がなければここまでの被害はなかったんじゃないか。ちゃんと管理されていれば…」という声を地元でよく耳にする。八間堀川の管理の所在はどこにあったのか。

都市建設部長 茨城県が管理を行っている。

議員 相平橋から上流について、下流と同様の施工をしていく計画はなかったのか。

都市建設部長 下流部から順次工事に着手し

ていると伺っている。

議員 順次整備しているといっても、結果的にその継ぎ目のところで決壊ということになった。決壊の経緯を市は把握しているのか。

市民生活部長

県でもまだ検証していないため、市でも現在よくわからない。

議員

今の異常気象の中で、いつまた起こるかかわらないと不安を口にする方もいる。今後の復旧・改修・整備はどう進むのか。

都市建設部長

相平橋から上流も、下流と同様の改修工事や河川拡幅・堤防整備工事を実施する予定と伺っている。

議員

八間堀川の整備については、なかなか実現せず、先送りになってきてしまった現状もあると思う。市長は今後どのようなやっていただけるのか。

市長

11月の県議会で10億円の補正予算が計上され、本格的な復旧改修ができると期待している。

議員

鬼怒川の堤防同様に、八間堀川についても復旧整備をさらに強く要望していただきたい。



抜け落ちた避難指示を明確に！！

このたびの水害の避難指示の出し方について尋ねる

議員

9月10日10時ごろ、上三坂の区長から「もうすぐ（水が）越えそうなんだよ」という電話があり、私は対策本部に避難指示を出すよう訴えた。口頭で言うと職員が首をかしげたので、紙に「上三坂、中三坂上、中三坂下」と書いて、市長の前のテーブルに置いて本部を出た。紙に書いた避難指示はいつ出されたのか。

市民生活部長

中三坂上・中三坂下地区へは9月10日10時30分、上三坂地区へは13時8分に発令した。

議員

上三坂地区へは決壊してから避難指示を出したということか。

市民生活部長

結果的にそういうことである。

議員

どうして紙に書いた上三坂だけ抜けてしまったのか。

市長

今のところしっかりと答えることはできない。

議員

私が書いた紙がだれの手を通過してどこで抜け落ちたのか。そこを検証してください。検証してもわからないときは最終的には市長が責任をとってください。

市長

災害対策本部長として責任もあるし、マスコミのインタビューに対して、謝罪もしている。

議員

平内、山口、沖三坂は隣接しているのに、なぜ沖三坂には勧告も何も出されなかったのか。

市民生活部長

9月10日4時の段階では石下地区だけに勧告を出した。

議員

石下地区とかよく言うが、石下、水海道じゃないでしょう。隣接しているのに沖三坂だけ勧告しないなんてありえない。

